

「石狩市災害廃棄物処理計画の策定について」に寄せられた意見と検討結果

【実施期間】	令和３年２月２５日（木）から令和３年３月２５日（木）まで		
【担当部局】	環境市民部ごみ・リサイクル課		
【意見提出者数】	２人		
【意見件数】	６件		
【意見への対応】	採 用	： 意見に基づき原案を修正するもの	３件
	一部採用	： 意見に基づき原案を一部修正するもの	０件
	不 採 用	： 意見を原案に反映しないもの	１件
	記 載 済	： 既に原案に盛り込まれているもの	２件
	参 考	： 意見を今後の事業運営の参考とするもの	０件
	そ の 他	： ご質問・ご意見として伺うもの	０件
【意見の検討経過】	令和３年３月２６日（金）～ ３月２９日（月）：当課において意見の検討及び検討結果（案）の作成		
	令和３年３月３１日（水）：関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定		

「石狩市災害廃棄物処理計画の策定について」に寄せられた意見と検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	2. 想定する災害：では、近年は今迄の災害を上回る規模のものが多く起こっています。 私が心配しているのは、これらの災害により電源がなくなる、又、通電不能を想定したものが明記されていないことです。ぜひご検討下さい。	記載済	計画全体版の第3章第3節などに記載のとおり、災害発生後は、災害対策本部の指揮のもと被害状況の情報収集が行われるほか、一般廃棄物処理施設においては、電気や給水を含む緊急点検を実施し、点検結果に応じて、施設使用の可否判断、代替措置の検討、支援要否の判断を行います。 また、発災時の初動体制から刻々と変化していく事象に対応するため段階的な処理対策を講じるほか、災害廃棄物の処理が長期化すると見込まれる場合には、被災状況や廃棄物発生量、施設の処理能力を踏まえた災害廃棄物処理実行計画を作成し、処理作業を実施することとしています。
2	又、廃棄物の所で太陽光パネル、風力発電機のこともと取り上げて下さい。 ※太陽光パネルは、こわれていてもそれだけでも発電し感電の危険があります。破損したパネルを片付けるのも大変危険です。 ※風力発電機は、大型化しており羽根が飛ぶ、ポールが倒れる、雷による火災等などが起こると、周辺の民家や工場への影響、災害は計り知れません。又、道路も通行不可能となります。 上記、2つの危険性を住民に周知すると共に市役所内でも対策を考えて下さい。尚、太陽光パネル、風車の羽根においては未だに処理方法が確立されていません。	不採用	本計画は、災害により発生する廃棄物を11種類に分類し、また、被災者や避難者の生活に伴い発生する廃棄物を3種類に分類し、迅速かつ適正に処理することを目的に策定するものです。災害の発生場所や規模により、様々な建築物、構築物が廃棄物発生の要因となる可能性はありますが、建築物や構築物の危険性を判断する計画とはなっておりません。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
3	① P21 廃家電 P21 の廃家電のうち、4 行目の記述、～基本的に平時と <u>同じルートでリサイクルを行う～</u> を、 <u>同じルートで回収、リサイクルを行う</u> とした方が解りやすい。	採 用	ご意見のとおり原案を修正します。
4	また、P18 の仮置場～図に、家電リサイクル品（4 品）のみ設置場所があり、それ以外の小型家電～等は持ち込みが出来ないものと解説しました。そうであれば、*仮置場には持ち込まない等の注記が必要かと思います。	採 用	仮置場には、家電リサイクル品（4 品）以外の小型家電等の集積も想定されることから、ご意見を踏まえ、配置図に小型家電等の区分を追加します。 なお、配置図案は、主な災害廃棄物の配置の一例を示したものであり、発災後は廃棄物の発生状況や仮置場の面積等に応じ、適正な排出方法を広報するほか、正しい分別区分による集積を行うため、管理人を配置することとしています。
5	② P23 第 13 節～ 2 行目と 8 行目に、 <u>ゴミステーションに出されたものを収集～</u> とありますが、P24 の〔平時～発災後に広報する主な内容〕の表に、 <u>家庭ごみは家の前または～</u> となっており、石狩市は戸別収集をしているので <u>家の前に出されたものを収集</u> ではありませんか？	採 用	ご指摘のとおり、本市は戸別収集であることから原案を修正します。
6	③ 石狩市災害廃棄物処理計画（案）を読ませていただき、災害廃棄物（災害ゴミ）だけではなく私たちが日々の生活の営みから排出される廃棄物（ゴミ）について考えさせられました。P24 の市民への啓発として、発災時に大量の廃棄物を発生させないために～普段から不要なものは処分する～耳の痛い言葉です、見直していきます。	記載済	災害廃棄物を適正かつ迅速に処理するためには、市民の理解と協力を得ることが最も重要であることから、平時より、災害廃棄物の分別や、不要になった廃棄物を日頃から処分しておくことなどについて周知啓発してまいります。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	昨今、気候変動による大雨災害や地震が多発しています。 当市も例外ではないと思います。 この計画が使われないことを願いながらも、市民啓発が急務と思います。		